

2022年11月25日
 第一交通産業株式会社
 株式会社電脳交通

NEDO「グリーンイノベーション基金事業」の開発・実証を開始

タクシー車両のEV化及び配車システムでの運用効率化に係る開発・実証を本格稼働
 —タクシー業界と地域公共交通に必要なカーボンニュートラルを推進—

第一交通産業株式会社（代表取締役社長：田中 亮一郎、以下「第一交通」）と株式会社電脳交通（代表取締役：近藤 洋祐、以下「電脳交通」）は「グリーンイノベーション基金事業／スマートモビリティ社会の構築」（以下「本事業」）の採択を受け、12月2日より本格的な実証と開発を行います。

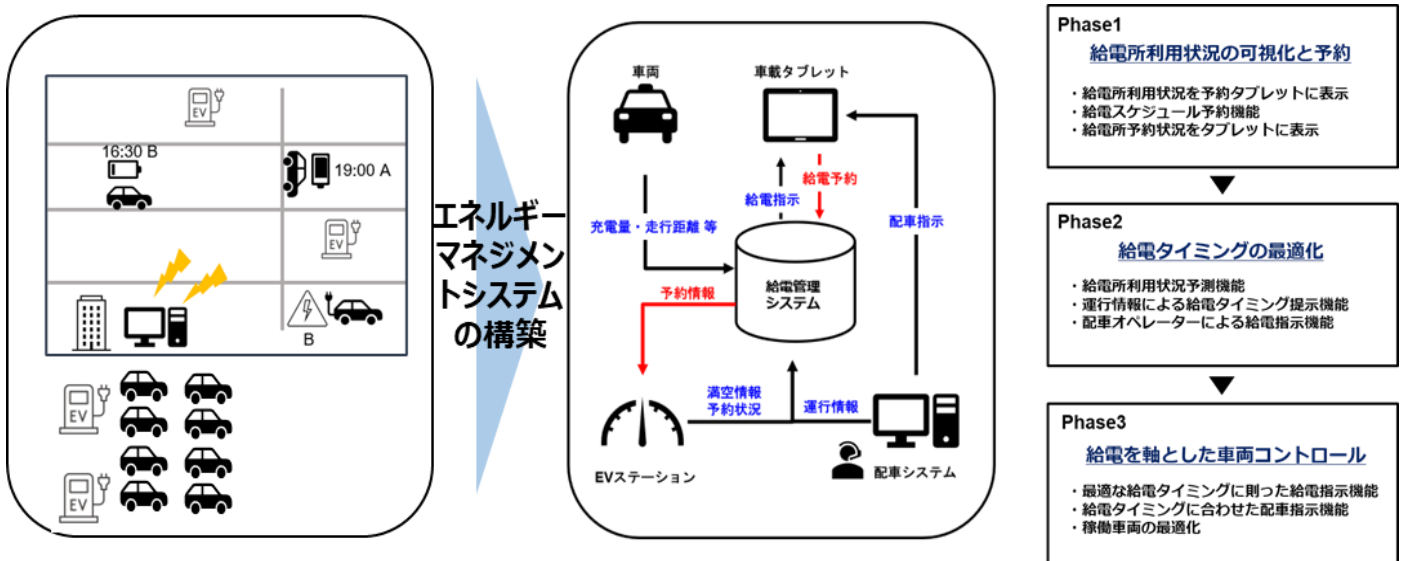
<本事業の内容>

このたび採択された本事業では、第一交通と電脳交通が連携し、広島県及び和歌山県で今年度よりEV車両のタクシー運行を順次開始、各エリアの特性に合わせ、配車システムをコアとした給電タイミングの最適化と運行の効率化を図ります。

また、実証を通じて課題を抽出、解決しながら電動車運用上のロジックを構築し、システムの高度化に努めていきます。そのために車両・充電設備・車載機器などのデータ連携や現場作業の効率化を行います。

加えて、CO2排出量削減に向けて算定システムを導入し、現状把握・排出量の可視化・削減を行うことで実行度を高め、カーボンニュートラルに資する取り組みとしていきます。

なお、本事業は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）による助成事業として行われます。



＜今後の展開＞

電動化により取得したデータを分析・活用することで、技術の高度化やお客さまに電動車を選択いただく仕組み作りをしてまいります。

また、本事業で培うノウハウを活かしながらグループ内の車両電動化率を高めていくと同時に、タクシー業界への横展開を想定し、業界全体でカーボンニュートラルに取り組める礎を構築し、適切な情報発信を行ってまいります。

加えて、グループ内の電動化において、住友商事株式会社及び同社グループ各社や損害保険ジャパン株式会社といった異なる業種ともアライアンスを組みながら、電動車導入前のシミュレーションや資材の調達、最適化によるコスト削減、リスク管理等を行い、推進してまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

第一交通産業株式会社 交通事業統括本部

古賀、大久保 093-511-8850 / taxi@daiichi-koutsu.co.jp

株式会社電脳交通 広報担当

波多野、江刺家 / pr@dennokotsu.jp